

CO₂フリー水素サプライチェーン構築に向けた調査事業への参画
～むつ小川原および東北エリアにおける水素製造・利活用ポテンシャル調査～

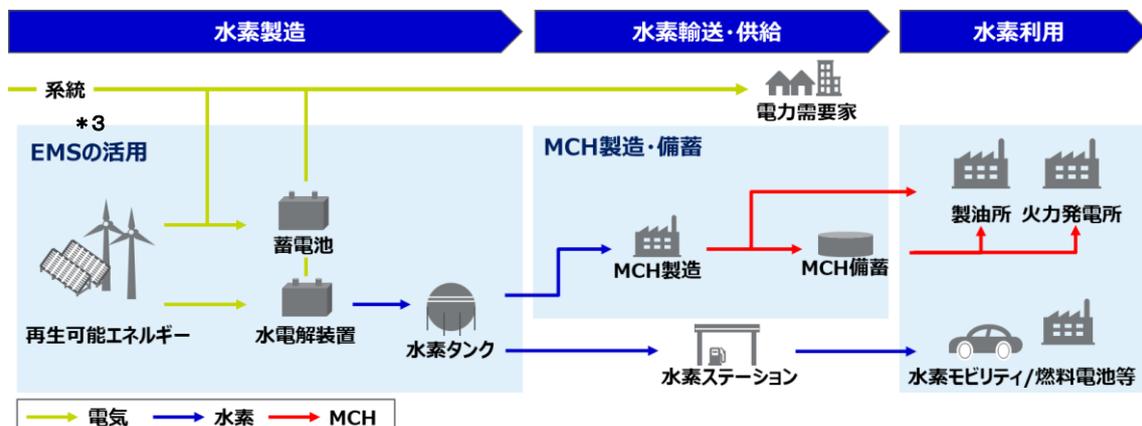
当社（代表取締役：福田健吉）は、ENEOS株式会社様、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社様とともに、CO₂フリー水素サプライチェーン構築に向けた「むつ小川原での水素地産地消モデル調査事業」を実施することになりましたので、お知らせいたします。

なお本日、当事業は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する「[水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発／水素製造・利活用ポテンシャル調査](#)^{※1}」の委託先として採択されました。

採択テーマ	むつ小川原地区と東北エリアにおける水素製造・利活用ポテンシャルに関する調査
対象エリア	むつ小川原地区を中心とする東北エリア
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーによる水素製造・利用検討 ・メチルシクロヘキサン(MCH)^{※2}の製造・貯蔵・輸送・供給、製油所等での水素利活用 ・石油備蓄タンクのMCH貯蔵可能性評価 ・水素製造・供給モデルの事業性評価
調査期間	2022年度末まで
参画企業と主な役割	<p>【ENEOS株式会社】 全体総括/水素製造・貯蔵・輸送・供給の事業モデル構築と事業性評価</p> <p>【デロイト トーマツ コンサルティング合同会社】 再生可能エネルギー余力試算/水素利活用調査</p> <p>【新むつ小川原株式会社】 水素製造・活用ポテンシャル調査/電力会社・自治体・地元企業からのヒアリング</p>

<調査事業の概要>

<CO₂フリー水素サプライチェーン構築イメージ>



※1 NEDOによる採択決定 https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101462.html

※2 水素ガスの500分の1の容積で常温常圧の液体。貯蔵や輸送など取り扱いが容易なことが特徴

※3 電力需要や水素需要などに応じて水素製造を最適化するシステム

当社は、我が国の2050年カーボンニュートラル実現のため、本事業を始めとするエネルギー産業や科学技術などの先端的な拠点化を図り、むつ小川原開発地区の発展を通じて社会貢献して参ります。

以上

新むつ小川原株式会社 企画営業本部 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目3番2号
TEL03-5218-0062 <https://www.shinmutsu.co.jp/>